

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 12 月 12 日(2022.12.12)

【公開番号】特開 2022-92046(P2022-92046A)  
【公開日】令和 4 年 6 月 21 日(2022.6.21)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-111  
【出願番号】特願 2022-66908(P2022-66908)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 2 日(2022.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件が成立することに基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機において、

所定の遊技領域が形成される遊技盤と、

前記遊技盤において所定の発光部が前面に設けられる発光基板と、

当該遊技機の裏面側の少なくとも一部に設けられ、前記発光基板の後方に位置する透光部と、

30

前記発光部の発光態様を制御する発光制御手段と、を備え、

前記発光部は、図柄が変動表示しているときと、図柄が変動表示していないときの何れにおいても発光可能であり、

前記発光制御手段は、当該遊技機の状態が特定状態と判断された場合に、前記発光部の発光態様を変更可能であり、

前記発光基板には、前記発光部の光が漏光することが可能な孔部が設けられ、

前記透光部は、前記発光基板の孔部から漏光した光を透光するように設けられており、

さらに、前記発光制御手段による前記発光部の発光態様の変更に伴い、前記透光部を介して視認可能とされる態様が変化するものであり、

さらに、前記透光部を介して当該遊技機の後方側から視認可能とされる光の光量は、所定の調整操作により調整可能である

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、

所定の始動条件が成立することに基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の

50

結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機において、  
所定の遊技領域が形成される遊技盤と、  
前記遊技盤において所定の発光部が前面に設けられる発光基板と、  
当該遊技機の裏面側の少なくとも一部に設けられ、前記発光基板の後方に位置する透光部と、  
前記発光部の発光態様を制御する発光制御手段と、を備え、  
前記発光部は、図柄が変動表示しているときと、図柄が変動表示していないときの何れにおいても発光可能であり、  
前記発光制御手段は、当該遊技機の状態が特定状態と判断された場合に、前記発光部の発光態様を変更可能であり、  
前記発光基板には、前記発光部の光が漏光することが可能な孔部が設けられ、  
前記透光部は、前記発光基板の孔部から漏光した光を透光するように設けられており、  
さらに、前記発光制御手段による前記発光部の発光態様の変更に伴い、前記透光部を介して視認可能とされる態様が変化するものであり、  
さらに、前記透光部を介して当該遊技機の後方側から視認可能とされる光の光量は、所定の調整操作により調整可能である  
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50